

令和4年9月21日

第39回中国文化セミナー開催のご案内

日中建築住宅産業協議会
交流委員長 関本 暁

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今回開催いたします「第39回中国文化セミナー」は、一般社団法人アジア芸術文化促進会が日中国交正常化50周年記念公演として上演いたします「～能舞台で繰り広げる「西遊記奇聞」～『みんな迷い子』を観劇する事といたします。

中国伝統芸能の「絶技」と呼ばれる変面は、次々と一瞬で変わるお面で劇中の登場人物や心情の変化を表しており、その秘技変面の仕組みは国家機密と言われています。

今回の公演は、日中両国それぞれの伝統芸能である日本舞踊と変面に現代的な語りの要素を加えた新しい舞台となっております。

出演者の王文強氏は、現在、一般社団法人アジア芸術文化促進会の代表を務められています。また、2021年12月に行われた当協議会の「第38回中国文化セミナー」でも、王氏の変面一人芝居の公演を観劇し、好評を博しました。

日中両国の伝統芸能が融合した過去に類を見ない作品を、国立能楽堂で観劇するという貴重な機会になると思います。皆様是非ご参加ください。

今回は、下記の日時で席をご用意いたしました。席数に限りがございますので参加ご希望の方はお早目にお申込みをお願いいたします。

敬具

【記】

- 日 時 11月1日(火) 18:30～、11月16日(水) 14:00～
※上演予定時間：80分(休憩なし)
- 場 所 国立能楽堂
(東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-10)
- タイトル アジア芸術文化促進会演劇公演 No.2 [日中国交正常化50周年記念]
～能舞台で繰り広げる「西遊記奇聞」～『みんな迷い子』
- 出演者 王文強氏(一般社団法人アジア芸術文化促進会 代表) 他
- 参加費 1,000円/人(日中建協一部負担)
- 定 員 11月1日(火)：10名、11月16日(水)：25名
(定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい)
- 締め切り 令和4年10月14日(金) 必着

8. 申込みについて

最終ページの参加申込書にご記入の上、メールかFAXにてお申込みください。

※ご参加いただく皆様には、日程が近付きましたら緊急連絡先など、別途お送り致します。

アクセス MAP



<公演企画のねらい・ポイント>

- ① 「変面」は約 300 年前に『川劇』という中国地方劇の演出技巧の一つとして発案されましたが、その後は芝居に用いられる事は少なく、瞬時に変わるお面の部分のみがショー化され今日に至っています。当会では日中国交正常化 50 周年を記念し、「変面」の可能性と原点を探るため、変面を「日本の現代劇」に取り込むという世界でも類のない取り組みを行っております。
- ② 昨年 12 月に銀座博品館劇場で公演した変面一人芝居『マスク氏の冒険』（作/演出：加藤直）に次ぐ第 2 作品目となる本作では、日本舞踊界を牽引する舞踊家・花柳基氏を招き、中国伝統芸能変面の名手・王文強と共に、「舞踊と仮面」の日中両国の伝統芸能が融合した過去に類を見ない作品となります。
- ③ 身体的表現で魅せる日中の伝統芸能に対して、あえて「語り表現」で挑むのは、現代劇出身の声優・柳沢三千代氏。空間をも操る巧みなことば表現で、物語をミステリアスに、時にユーモラスに展開します。また唯一無二の音楽表現（パーカッション）を奏でる打楽器奏者・見谷聡一氏が、ドラマティックにストーリーを彩ります。
- ④ 題材は日中両国のみならず世界的に親しまれている「西遊記」のエピソードを新たに、三蔵法師一行と妖怪、またオトコ・オンナのキャラクターを中心に「西遊記奇聞」として描きます。
- ⑤ 約 1300 年前に中国から伝わった「散楽」が、日本独自の発展を経て現在のスタイルになったとされる能楽。その「能」を構成する「舞い・仮面・謡・囃子」の 4 つの要素を、今回「日本舞踊・変面・語り・打楽器演奏」という独自の切り口でアレンジし、作・演出を手掛けるのは、仮面劇作品にも定評がある演出家・加藤直氏。
会場となる能舞台の厳粛かつ立体的な特殊空間の中で、舞台の持つ素朴さ・味を生かし、「演劇の原点」を追求した作品を創作いたします。

【出演】

サンゾウ : 花柳 基
オトコ・ヨウカイ : 王 文強
オンナ・ゴクウ : 柳沢 三千代
ゴジョウ : 花柳 喜衛文華
ハッカイ : 花柳 絵美舞也
演奏（パーカッション） : 見谷 聡一

【スタッフ】

作・演出：加藤 直
演出助手：伊賀 忍

振 付：花柳 基
音 楽：見谷 聡一

衣 裳：太田 雅公
照 明：成瀬 一裕
音 響：出井 稔師
舞台監督：高橋 三十四
舞台技術：野澤 順一

企 画 : 戸田 宗宏
統括プロデューサー：山本 晶
プロデューサー：齋藤 譲一
プロデューサー：李 恵貞
制 作 : 高梨 佳子

【作・演出家プロフィール】

■加藤 直（作家、演出家）

オペラ、演劇、ミュージカル、コンサート、合唱の作・演出など多岐にわたる活動を重ねる。2010年松本市民芸術館「まつもと演劇工場」工場長就任。ロングラン公演となったミュージカル「ピーターパン」や、『西遊記』公演などで積極的に仮面を使い、独自の仮面劇作りにも挑戦。こんにやく座「セロ弾きのゴーシュ」で芸術祭賞受賞など。



【主なキャストプロフィール】

■花柳 基（日本舞踊家、花柳流花柳会理事）

2歳より母である花柳秀に師事し、6歳からは人間国宝・花柳壽楽師に師事する。

（公社）日本舞踊協会公演、国立劇場主催公演、テレビなどへの出演の他、ジャポニズム2018日本舞踊パリ公演等、ヨーロッパ・中東アジアなど海外での活動も多数。主宰する「基の会」での花柳流作品を中心とした古典の研鑽、そして創作舞踊等これからの日本舞踊を視野に入れた新作も手がける。芸術選奨文部科学大臣賞等多数。



■王 文強（中国伝統芸能「変面」俳優）

中国安徽省出身。12歳より中国伝統劇「黄梅劇」を学び、安徽省銅陵市芸術劇院所属俳優として活動。その後中国戯曲学院、日本大学芸術学部大学院で学びを深める。在籍中より国際文化交流に関心を抱き、2018年「アジア芸術文化促進会」を設立。日中の芸術文化を紹介するイベントなどを企画、出演している。2021年銀座博品館劇場「王文強の変面の世界」。2013年 全国戯劇文化賞演技金賞・演出賞受賞（中国）。



■柳沢 三千代（声優・ナレーター）

大阪府生まれ。青二プロダクション所属。日本大学芸術学部演劇学科卒。在学中に如月小春主宰の劇団「NOISE」に旗揚げより女優として参加、座長の進言で声優の道へ。『それいけ！アンパンマン』カレーパンマン役、『機動戦士ガンダム SEED』エリカ・シモンズ役、上田トシコ原作『フィチンさん』フィチン役、ちばてつや原作『風のように』語り、他。朗読ユニット「はんなりラヂオ」代表、舞台の活動も続けている。



■見谷 聡一（作曲家・打楽器奏者）

さまざまな打楽器やリズムを駆使し変幻自在なパフォーマンスとポップなキャラクターでキッズからお年寄りまで魅了する打楽器人。大道芸人としても活動中。東京都認定ヘブナーティストとして各地の大道芸フェスティバルや舞台、テレビ番組に多数出演。



■アジア芸術文化促進会

2018年、王文強・山本品により設立。『芸術文化は国境、宗教、人間の心の壁をも超える』という信念のもとに、アジアの芸術文化・伝統芸能を通じて、人間同士の繋がりが深まる社会創りに貢献したいと、イベント企画、創作活動、アジアの子供たちとの交流などの活動を展開している。